

グローバル・ヴィレッジ(GV) 2022 年活動報告

2022 年は、バングラデシュで 2 つのプロジェクトが動き出しました。ひとつは、女性のエンパワメントを目指す研修プログラム。2021 年開始の予定がコロナ禍の影響等により延期となっていたのですが、2022 年 2 月から始動しました。もうひとつは、ピープルツリーのフェアトレード生産者パートナーである「タナパラ・スワローズ」の小学校の継続を支援するプロジェクトで、5 月にクラウドファンディングを実施。多くのご支援を得て 2023 年 1 月から少人数のプレスクールとして再開となりました。

12 月末、代表の胤森がバングラデシュを訪れ、これらのプロジェクトのチームと直接顔を合わせて進捗を確認しこれからのプランを話し合いました。その内容は、ブログや 2023 年 3 月の報告会で発信しています。

啓発活動では、月 1 回の「フェアトレードの学校」をピープルツリー自由が丘店とオンラインで開催したほか、4 月の「ファッションレポリューション・デー」、5 月の「世界フェアトレード・デー」にもオンラインセミナーを実施しました。学校等へへの出張講演も 23 件あり、小学生から社会人まで幅広い層にフェアトレードを伝えました。

【収入・支出状況】

(会計年度1月1日～12月31日)	(単位:円)	
	2021	2022
収入の部	3,485,677	2,704,999
会費収入	925,000	815,000
寄付金収入	1,903,959	1,338,249
啓発活動収入	656,718	551,750
支出の部	2,975,125	2,802,103
情報発信	195,186	194,208
啓発活動費	321,241	300,745
プロジェクト支援	1,887,414	1,762,588
活動費小計	2,403,841	2,257,541
人件費	228,000	228,000
家賃・水道光熱費	228,000	228,000
手数料	45,467	42,876
その他事務所諸経費	69,817	45,686
事務所経費小計	571,284	544,562
当期収支	510,552	▲ 97,104
前期繰越	316,144	826,696
次期繰越	826,696	729,592

収入の部は 270 万円で、クラウドファンディング 91 万円を含む寄付収入が 134 万と半分を占めました。会費収入は 82 万円、「フェアトレードの学校」の参加費や講演の講師料などによる啓発活動収入は 55 万円で、いずれも前年よりやや減少しました。

支出の部は 280 万円で、プロジェクト支援費の 176 万円には、タナパラ・スワローズへの支援金を始め、クラウドファンディングの運営費や 12 月のバングラデシュ訪問費用が含まれます。事務所経費は 54 万円で前年を下回りました。

この結果、当期は 9 万 7,000 円の損失を計上し、73 万円を次年度に繰り越しました。

【活動報告】

1. 生産者支援活動

1) 女性のエンパワメント研修

バングラデシュのフェアトレード団体のネットワーク「ECOTA」と開発 NGO「クリスチャン・エイド」が実施する、フェアトレードの生産現場で性差別のない職場、女性がリーダーシップを発揮できる環境の実現を目指す研修です。2021 年に実施したクラウドファンディングで多くのみなさまのご支援を得て実現しました。

2 月から 5 月にかけて、ECOTA メンバーである参加 6 団体の現状を把握する調査を実施。そして 7 月末に 6 団体のマネジメントメンバーの研修、10 月末には各団体から教育係に選ばれた 26 名による 5 日間の研修が終了しました。2023 年 3 月現在、教育係が各団体に経験をもち帰って研修を行っています。



マネジメントメンバーの研修では男性の意識改革も重要。男女半々で 14 名が参加(7 月)

※支援金 8,000 ドルは 2021 年支出に予定額として計上済みのため、2022 年の支出には含まれません

2) タナパラ・スワローズ小学校の継続支援

タナパラ・スワローズが 40 年以上に渡って運営してきた小学校が、コロナ禍での資金難と政府の政策の影響を受けて 2022 年いっぱい閉校予定となり、2023 年から少人数で質の高い教育を受けられる場として再出発することになりました。

5 月に実施したクラウドファンディングで 91 万円余りのご支援を受け取り、まず 1 年間の継続の目処が立ちました。ご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

2023 年は未就学の 5 歳児を対象としたプレスクールをスタートし、新たな小学校は 1 年の助走期間を経て 2024 年に開校します。新しい校長と教師 2 名が就任し、2023 年 1 月 1 日に行われた開校式に GV 代表の胤森が出席しました。

《送金額》 87 万 7,000 円(6,000 ドル)



プレスクールの教室で子どもたちに囲まれて(2023 年 1 月)

フェアトレードパートナー団体のプロジェクトを支援

●タラ・プロジェクト(インド)

アクセサリーを手掛けるタラ・プロジェクトが運営する教育センター(貧困家庭の子ども達を対象に公立学校の授業の補習を行う場)は、コロナ禍で2年間活動を中止していましたが、2022年3月から再開しました。また、デリー郊外のスリラム地区に、若い女性が縫製技術を身に付ける研修センターがオープンし、新たに支援を開始しました。

《送金額》 43万1千円

※上記はジュエリーブランド「RUKUS by yasuihiro tomita」と「未来シフト」よりご寄付いただいた26万4千円、およびピープルツリーのアクセサリーの売上に応じた寄付16万3千円との合計額です。



(左)縫製の訓練を受ける参加者
(右)アグラの教育センターの教室の一コマ

●クムベシュワール・テクニカル・スクール(KTS) (ネパール)

手編みのニット製品を生産するKTSが運営する児童養護施設を支援しました。

《送金額》 35万円

※KTSのファッションアイテム1点につき100円をピープルツリーより寄付したもので、GVからの拠出はありません。

●アッピタ(コスタリカ)

カカオ農家の生活向上を目指して、有機肥料の研究・開発や技術研修を行う農家の共同体を支援しました。

《送金(予定)額》 52万円

※チョコレートの「カカオポイント」でご応募いただいたポイントに応じてピープルツリーより寄付するもので、GVからの拠出はありません。

●バングラデシュ衣料産業労働者連盟(NGWF)

縫製工場等で働く女性たちの地位向上を目指すNGWFが実施する女性リーダー養成講座の費用を助成。12月のバングラデシュ訪問の際、NGWFの事務所でアミール・ハク・アミン代表から活動の報告を受けました。

《送金額》 11万9千円

2. 啓発活動

1) 世界的なキャンペーンとの連動

4月はファッションの背景を考える「ファッションレポリビューション・デー」に合わせ、タナパラ・スワローズのお二人をゲストに迎えたオンラインセミナーを実施。フェアトレード月間の5月には、末吉里花さん(エシカル協会代表理事)とジェームズ・ミニ(ピープルツリー社長)の対談でサステナブルなビジネスについて発信しました。

また、「プラスチックフリー・ジュライ」の7月に、プラスチック問題に取り組むニューヨークの小学生を追ったドキュメンタリー映画のオンライン上映会を実施しました。



©Cafeteria Culture 2022

2) フェアトレードの学校

ピープルツリー自由が丘店でのリアル開催4回、オンライン6回の合計10回開催。「顔の見える物流」をテーマに日本郵船株式会社から、「日本の貧困」をテーマにビッグイシュー日本からゲストを迎えるなど、多彩なテーマでお届けしました。

3) 講師派遣・インタビュー等 23件

- ・学校 13件(大学2/中学・高校10/小学校1)
- ・市民団体等5件
- ・企業5件

後述の「フェアトレードタウン世田谷推進委員会」を通じて区内の小中学校での講演依頼を受けるなど、他のフェアトレード推進団体との連携が生まれました。

4) フェアトレード普及活動の支援

フェアトレードタウン運動などを推進する一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム、および東京都世田谷区をフェアトレードタウンにすることを目指す「フェアトレードタウン世田谷推進委員会」のメンバーとして、フェアトレードの推進を支援しています。また、高校の家庭科の教材にフェアトレード紹介を執筆しました。

【2023年活動計画】

バングラデシュの女性のエンパワメント研修とタナパラ・スワローズのプレスクールの運営を引き続きフォローしてまいります。フェアトレードの学校は、より多くの方に参加いただけるよう、リアルとオンラインのハイブリッド開催を進め、出前授業にも力を入れてまいります。

以上